

Volunteer Center

ボラセンだより



編集・発行
東金市ボランティアセンター
〒283-0005
東金市田間三丁目9番地1
ふれあいセンター 2F
TEL 0475-52-5198
FAX 0475-52-8227



ボラセンだより 第50号 2016年8月発行

e-mail togane.shakyo@cronos.ocn.ne.jp
http://www.togane-shakyo.jp/

「ボラセンだより」が
50号になりました。



八月六日(土)第十二回ボランティアセンター夏まつりが元気に開催されました。ボラセンに登録の団体や、ボランティアの大学生や高校生、そして小学生など沢山の仲間が朝早くから準備。約七百名の参加者を迎え、楽しい一日が始まりました。ふれあいセンターのメインステージでは、あちこちで活躍している「やっさこまち」のライブでスタート。コーラスや三味線などに加え、ソプラノの独唱などがお目見え。観覧者は、見事な演奏や演技に耳を傾けリズムをとっていました。二階にも皆さんに足を運んでもらおうと今年の新企画、視聴覚室で実施したサブステージにて楽しい「マジック」と「バルーン・アート」。

「マジック」は子どもから大人まで拍手大喝采。「バルーン・アート」では、皆製作に夢中で、風船と戯れていました。材料の風船が足りず、風船を膨らませるのに関係者は汗だくでした。食べ物も充実、みよりの郷の「お弁当」、「パン」や「焼きそば」大好評の「流しそめん」や「かき氷」にはいつも行列が。「とっちーグッズ」がゲット出来るスタンプリリーに、子ども達は大ハッスル。缶つりを孫と一緒に楽しむ高齢者の姿も見られました。夏まつりを支えるボランティア、そして参加している市民、それぞれが笑顔で楽しんだ今年の「夏まつり」でした。

笑顔がいっぱい
ボランティアセンター夏まつり開催



ボランティア紹介

猪野 智大 (ちひろ) (小4)

ぼくは、お年よりのしせつ(東金なごみ館)やりハビリしせつ(リハビリステーションレッツ倶楽部東金)で初めてボランティア体験をしました。

お年よりのしせつでは、おじいさんやおばあさんといっしょに遊んだり、話をしたりしました。リハビリしせつでは車いすを押ししたり、移動する方のゆうどうをしてしせつの方の手伝いをしました。

ぼくはボランティア体験をしてよかったです。ぼくがいっしょに遊んだり手伝いをしたりすることで、相手の人がよこんでくれます。そうするとぼくもうれしくなるからです。

夏休みボランティア体験

高橋 佳風汰 (かなた) (小6)



夏休みに点字(点字サークルひまわり)、老人ホーム(介護老人福祉施設両総)、つくし会の三つのボランティアを体験しました。

ボランティアでは、楽しい事だけではなく、ためになる事も学べました。老人ホームでは、耳が聞こえにくい人の接し方などが学べました。

つくし会では、目の見えない人のために朗読をし、録音をして、CDを作っています。点字体験では目の見えない人でも読める点字というものを選びました。どれもためになり、将来役に立つ日が来るのかなと思いました。特に、ぼくは点字体験が楽しくて、またやってみたいと思いました。

Message



ボラセンだより

創刊第50号



小さいけれど大きくて、
狭いけれども広いもの

あの頃「ふえすたまっ」と呼んで始まったボランティアセンターの夏まつりも、今年で十二回を数えました。炎天下、周辺にチラシをポスティングして回ったことが思い出されます。

ふれあいセンター二階の社会福祉協議会という小さな所帯の、またさらに小さなその一角にあったボラセンには、市内で活動されている様々なボランティアグループの皆さんが入り交わっていました。それぞれのグループは、どれも個性的で和氣に満ちていて、思わず「私も入れて！」と横から手を挙げたくなるグループばかり。

小さな仲間が集まって、大きな祭りを成し遂げる、そして時にグループの輪を超えて、広くつながる仲間たち、これぞボランティア活動の醍醐味だと思います。ボラセンとボランティアグループの皆さんのますますのご発展をお祈りいたします。

竹内方子（元CO）

私のボランティア

ボランティアという言葉も理解せずにかかわり始めて三十年くらいでしょうか。下の子が幼稚園に入り何かもの足りなさを感じて一歩踏み出したような気がします。

私の「はじめの一步」は、視覚障がい者のための音訳グループでの活動でした。そこに踏み出すのはかなり勇気が必要でした。そしていざ始めてみると、周りは皆さん大先輩ばかり、身の程知らずを痛感し、その時の緊張感は、今思い出しても心臓に悪いです。でもいろいろな教えていただきいろいろな体験させていただきました。

今、ボランティアセンターの窓口について「なにかボランティアがしたいんですけれど」と言われた時、決まっていた心に思い浮かべるのは自分が始めて扉をたたいた時のこと。

その時の気持ちを思い浮かべながら、窓口にせっかく来てくださったことが見つかると、その方にあつたことが、なかなか難しい仕事です。

「なんとか活動に繋がりを、一年活動して今年も更新にきました」と笑顔でいわれる姿に接したときに、「この仕事やって良かったな」と心から思います。

K.W（CO）

ふるさとバスツアーに
出かけませんか

「ふるさとバスツアー」の企画&ガイド担当の戸村です。観光協会の会員という立場上、東金というまちの良さを、やや我田引水かつ牽強附会(?)な解釈でみなさんに伝えようと、地域に残る史跡や伝承を訪ねる旅を提案しています。

あるときは徳川家康の足跡をたどり、またあるときは鎌倉時代の残り香を探します。庶民信仰のかたちをとどめる路傍の石塔をめぐったかと思えば、地域の芸術文化にふれたりもします。

十五名以上集まれば、ご利用いただけるので、詳しくは社協までお問い合わせを。ちなみに、私は歴史の研究者ではないので、あくまでも「こうだったらうれしいな」という観点で郷土史を「編集」してみなさんに説明していきます。いわば、「茶飲み話のネタ」として語られるような郷土史ですね。

このへんのいきさつを今秋、東金図書館の講座でお話する機会をいただきました。十月三十日(土)開催予定です。冷やかし半分でも、おいでいただけるとうれしいです。



戸村寿彦
(東金市観光協会)

助成情報



●東日本大震災被災地、被災者支援活動助成事業

(ちばのWA地域づくり基金)
東日本大震災の千葉県内の被災地被災者や千葉県内への避難者を支援する活動

●障がい者給料増額支援助成金

(ヤマト福祉財団)
利用者さんの給料増額を目指す障害者福祉施設への支援

●障がい者福祉助成金

(ヤマト福祉財団)
会議・講演費・研修・出版・スポーツ・文化事業等に對する助成

●第17回小倉昌男賞

(ヤマト福祉財団)
障がい者に積極的に働く機会を提供するなどの活動をしている個人に対し表彰

お問い合わせ

東金市ボランティア

市民活動センター

0475-5215198

ボランティア募集

ボランティアセンター

市内の施設や公民館で、給手紙や手芸、将棋や囲碁を教えたり一緒にやってくれる方
☆問い合わせ
☎ 52-5198

ボランティア募集してます。

保育ボランティア

東金市の実施する検診等において、お母さんが検診を受ける少しいの間、一時的にお子さんをお預かりするボランティアを募集しています。
ボランティア活動のきっかけにぜひご相談ください。



日程 10月24日(月)
11月29日(火)
12月10日(土)

時間 午前9時~12時
午後1時~3時

場所 ふれあいセンター
問い合わせ ボランティアセンター

山武地区スポーツレクリエーション大会



山武地区の身体障害者福祉会によるスポーツレクリエーション大会です。体を動かすことが好きな方はぜひご協力ください。

日程 9月30日(金)

時間 9時~15時

場所 九十九里町中央公民館
内容 フライイングディスク、玉入れ等の協議における補助

問い合わせ ボランティアセンター

東金市ボランティア

市民活動センター

0475-5215198

手作り菓子工房 カバの店オープン

手作りパン工房「カバの家」の姉妹店として8月5日にプレオープン。9月のオープンを予定しています。

所在地 東金市下武射田 1237-4

(砂押県道沿い、駐車場有) 時間 10:00~17:00
問合せ ☎ 53-3973



街CAFEさくら



「認知症カフェ」として 毎月1回 開催されています。
認知症カフェは、認知症のご本人やその家族が地域の身近な場所で専門職(介護福祉士、看護師など)に相談しながら、地域住民と交流が出来る場のことです。

日程 8/28(日)、9/25(日)
時間 13:00~16:00
参加費 100円(お茶菓子代等)
問合せ (福)ゆりの木会内
認知症カフェ担当 ☎ 50-8111



お知らせ

ボランティアセンターから



「ボラセンだより」第50号いかがでしたか? ご意見やご感想をぜひお聞かせ下さい。「お知らせ」や「情報」などの原稿もお待ちしています。
東金市ボランティア・市民活動センター
TEL 0475-52-5198 FAX 0475-52-8227

感想やお便りはメールでもOK!です。
togane.shakyo@cronos.ocn.ne.jp

七月末、東金特別支援学校で開催された「防災ウオークラリー」に参加しました。教室や校庭に十五のポイントおき、ポイントを回りながら防災に困んだ様々な知識が得られます。生徒たちの説明を聞き、学んだり実際に体験出来るように工夫されています。エコノミーズ候群にならないための体操、救急法など、体験したり知っておくことの大切さを学びました。防災に對して熱心に取り組んでいて、生徒と先生に感謝です。暑い一日でしたが、楽しく充実した内容に大満足。次回は皆さんもぜひ参加してみてください。
(たあち)

